



はだの 議会だより

第247号 令和5年(2023年)2月12日(日)
発行:秦野市議会 編集:議会報編集委員会
〒257-8501 神奈川県秦野市桜町一丁目3番2号
☎0463-82-9652 秦野市議会



議会だよりへの意見をお待ちしております



主な内容

◆議案審議	1・6・7	面
◆一般質問	2・3・4	面
◆議会の動向		5面
◆陳情・意見書		5面
◆議会報告会の開催		7面
◆審議結果一覧表		8面
◆第1回(3月)定例会議日程		8面

秦野市議会は令和4年1月1日から通年会期制に移行しました

詳しくはこちら

第4回(12月)定例会議



紅白梅にメジロが飛来し春の到来を告げています (撮影者・栗原正行さん)

令和5年10月から上下水道料金を引き上げ はだの上下水道で「目に見えぬ」負担つき改定

第4回(12月)定例会議は、11月25日から12月14日までの20日間の日程で開催されました。
この定例会議では、条例の制定や一部改正など市長提出議案等23件(うち、報告1件)のほか、議員提出議案4件などを審議しました。

議案 安全な水道水を安定して供給するため 水道料金を平均7%引き上げ

議案第52号 秦野市水道事業給水条例の一部を改正することについて

水道事業の健全な経営の継続により、安全な水道水を安定して供給することができるよう、計画的に行う必要がある水道施設の更新を進める上で必要な財源の確保と社会経済情勢の変化に左右されにくい料金体系へと移行していくことを目的として、①基本料金の基本水量を引き下げるとともに、これに伴う超過料金の区分を追加すること、②基本料金の額を引き上げる、③基本料金のメーターの口径区分を細分化することについて改正するもの。

なお、この条例は、令和5年10月1日から施行するもの。

環境都市常任委員会
委員会での主な質疑

問 物価高騰などによる経済的負担を軽減するため、令和4年10月から実施している水道料金の減額を行う中で、料金引き上げの提案をすることに対し、市民は疑問を感じると思うが、5年10月に料金改定を行う理由はどのようなものか。

答 今回の水道料金の改定は、物価高騰対策として実施をした料金減額とは異なり、はだの上下水道ビジョンに基づき、施設の更新に向けた資金不足の解消を図るものである。施行時期については、物価高騰などに配慮し、当初の予定から半年間の先送りとした。

問 今回行う水道料金の改定は、物価高騰対策とは別の目的であるとのことだが、今後も施設に係る電気料金の増額が続く場合、再度料金設定を見直す可能性はあるか。

答 8年度までに生じる、年間約6600万円の電気料金の増額は、※補填財源で対応することを見込

環境都市常任委員会
委員会での主な質疑

議案 安定した汚水処理の継続を図るため
下水道使用料を平均5%引き上げ

議案第53号 秦野市公共下水道使用料徴収条例の一部を改正することについて

公共下水道事業の健全な経営の継続により、良質なサービスを安定的に提供できるよう、計画的に行う必要がある下水道施設の更新を進める上で必要な財源を確保することに加え、社会経済情勢の変化に左右されにくい料金体系へと移行していくことを目的として、公共下水道使用料の額を引き上げるため、改正するもの。

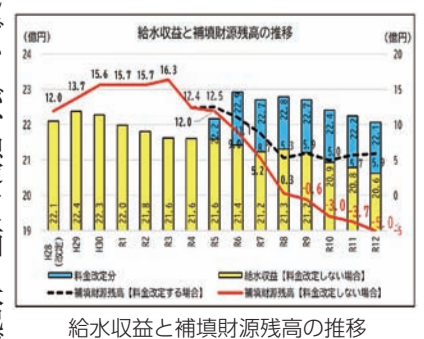
なお、この条例は、令和5年10月1日から施行するもの。

環境都市常任委員会
委員会での主な質疑・要望

問 本条例の改正では、社会経済情勢の変化に強い料金体系への移行を目的の一つとして、下水道使用料を引き上げることだが、目的の達成に向けた考え方はどのようなか。

答 今回の下水道使用料の改定は、財政計画に定めた引き上げ割合や、市民生活への影響に配慮したものであり、目的達成に向けた第一歩と捉えている。今後同様の改定を繰り返しながら、少しでも安定的な経営状態に近づけられるよう努めていく。

要望 変化の大きい改定を行えば、その分市民への負担が大きくなるなどの課題もある。さまざまなところできずみが生じないように、時間をかけ段階的に対応してほしい。



広告募集 はだの議会だよりであなたのお店や会社をPRしませんか

広告の媒体: はだの議会だより (年4回、各55,000部発行)
 広告規格: 縦4.7cm×横10.5cm
 掲載料: 1枠につき1回20,000円
 申込方法: 議事政策課へ連絡の上、申込書を提出してください。

※詳しくはホームページをご覧ください。
 (0463-82-9652) までお問い合わせください。

採決の結果

委員会 原案可決 (賛成全員)
 本会議 原案可決 (賛成多数)

本会議での反対討論

メーター口径区分ごとの使用料が均等に増額されておらず、不平等であることから反対する。

本会議での賛成討論

公共下水道事業は使用の対価である下水道使用料で賄うのが基本である。物価高騰を踏まえて実施を遅らせたことから、賛成する。